

# 吾妻公園

## チューリップまつり

4月7日(土)〜22日(日)

赤、白、黄色のチューリップ約1万株が吾妻公園の花壇で開花します。

色とりどりの花を、ぜひ、お楽しみください。

問い合わせは、吾妻公園管理事務所(☎228636)へ。

### ▼写生大会作品募集

チューリップまつり期間中

に開催します。

対象Ⅱ市内に居住または市内の幼稚園・保育園・こども園・小学校に通学(園)する子ども

画題Ⅱ吾妻公園の風景

画材Ⅱ自由(クレヨン、水彩絵の具など)

画用紙のサイズⅡ四つ切り

応募方法Ⅱ画用紙の裏側に①

## 自然観察の森 森と生きもの親子教室



自然観察の森の花や鳥や虫などの生きものに触れたり、森の中を歩いたりしながら、自然の不思議さや面白さを親子で学びます。観察をするだけでなく、観察したものを使ったクラフトや絵手紙の作成、野鳥観察後に餌台を作るなどの創作活動も行います。

なお、前期(4月から9月まで)と後期(10月から平成31年3月まで)で構成し、今回は前期の募集です。※後期の日程と募集については、広報きりゅう8月号でお知らせします。

問い合わせは自然観察の森(☎65-6901)へ。

期日・時間=下表のとおり

対象=小学生以上の子どもとその保護者

募集人数=10組(先着順)

申し込み=3月8日(木)から、電話で自然観察の森へ。※火曜日休園

### 前期スケジュール

期日	時間	タイトル
4月15日(日)	9:30~12:00	親子で春の森を見て歩こう
5月20日(日)	9:30~12:00	初夏の森の生き物観察
6月24日(日)	9:30~12:00	水辺の生きもの観察
7月22日(日)	9:30~12:00	夏の虫観察会
8月19日(日)	9:00~15:00	水辺の楽校へ参加
9月30日(日)	9:00~15:00	キノコ観察と絵手紙教室

### ▼花の苗をプレゼント

花の苗(1人1鉢)を、先着順で100人に配布します。

学校(園)名②学年、組③氏名(ふりがな)④年齢(未就学児は住所と電話番号)を記入し、4月22日(日)午後5時までに、吾妻公園管理事務所へ。

応募は1人1点までです。入賞者には賞状と賞品、応募者には参加賞を進呈します。

また、5月12日(土)から27日(日)までの間、イベント室に全ての応募作品を展示します。

### ▼茶会

緑友会(表千家)の皆さん

期日Ⅱ4月7日(土)  
時間Ⅱ午前10時から(小雨決行)  
配布場所Ⅱ温室前

が、点てたお茶を振る舞います。  
期日Ⅱ4月8日(日)  
時間Ⅱ午前10時~午後3時

(雨天決行)  
場所Ⅱ悠緑菴、閑雅亭  
費用Ⅱ1席500円



# 地域おこし協力隊 活動報告

桐生市地域おこし協力隊員の宮木源さんと北條早さんは、黒保根町の地域活性化に取り組んでいます。

今回は、昨年着任した北條さんの活動を紹介します。

問い合わせは、黒保根支所市民生活課庶務・税務係（☎962111）へ。

北條さんは、埼玉県出身で、美術大学を卒業後、東京都のガラスびん容器製造会社に勤務し、調味料やお酒などのびん



のデザインや食品などのパッケージデザインを担当していました。また、協力隊として活動するかわら、平成29年度桐生八木節キャンペーンスタッフの一人としても活躍しています。

平成29年8月に着任した北條さんは、水沼駅温泉センターに所属し、黒保根町の特産物の販売促進や地域食材を使用した新メニュー・新商品開発などを担当しています。

着任後、地域の人と交流を深めていくなかで、その豊富な経験や芸術的なセンスを生かし、生産者から数々のデザインに関する相談を受けていま

す。そのなかの一つに、「やまびこアイス」のパッケージリニューアルがあります。「やまびこアイス」は、「道の駅くろほね・やまびこ」のオリジナル商品で、「山椒、ふきのとう、黒大豆、さくら、ルバーブ」の5種類の味があり、地元の特産品を生かしたアイスです。

北條さんは、ガラスびん容器製造会社に勤務していたときから「パッケージを通じて地域に根ざした商品の魅力を伝えたい」との思いを持っていました。その思いを込め、現在、「やまびこアイス」のパッケージ制作に取り組んでいます。「個人的な山の幸のアイスをもっと多くの方に知ってもらいたい、この商品が地元の方たちが誇れる特産物になって欲しい」との意気込みを力強く話していました。新しいパッケージへの切り替えは、4月頃の予定です。

また、水沼駅温泉センターが1年で最も忙しい11月には、フロント業務も経験しました。北海道や九州など全国から大勢、来館されますが、日光や富岡、草津へ向かうツアーの昼食での立ち寄りが多く、そのうした人と直接会話するなかで「桐生市や黒保根の知名度



がまだ低い」と感じたそうです。

「デザインを通して、黒保根の価値ある商品を多くの方に届けていけるよう、桐生市内外へ黒保根地域の魅力を情報発信し、伝えていきたい」と、今後の抱負を話してくれました。

●桐生市地域おこし協力隊のホームページ（<https://www4.hp-ez.com/hp/kyukuhone/>）

協力隊員が黒保根町の魅力や日々の活動を随時発信しています。

## 地域おこし協力隊とは

人口減少や高齢化などに悩む地方自治体が、都市住民を任期最長3年間で受け入れ委嘱します。

自治体は、協力隊員に農林漁業の応援、住民の生活支援などの「地域協力活動」に従事してもらいながら、その地域への定住・定着を図り、地域の充実・強化を目指します。